

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 40代	腎細胞癌第4期 (骨転移, 肺転移)	37.5mg 9日間	腫瘍崩壊症候群	
				<前治療歴> なし	
				投与12日前	CT検査にて腎細胞癌(第4期, T4N2M1)の原発巣は131.43mm, 体積として1210mLであった。PS:1。
				投与開始日	腎細胞癌に対して本剤37.5mg/日の投与を開始した。
				投与7日目	肝機能障害(グレード2)が発現した。触診上, 原発腫瘍は明らかに軟化していた。
				投与8日目	倦怠感(グレード3)が発現した。
				投与9日目 (投与中止日)	肝機能障害(グレード4), 高尿酸血症(グレード4), 食欲不振(グレード3), 血小板減少(グレード2), 糸球体濾過量(eGFR)低下(グレード1)が発現した。本剤の投与を中止した。
				中止1日後	eGFR低下(グレード2), 高カリウム血症(グレード1), アシドーシス(グレード1)が発現した。
				中止2日後	血小板減少(グレード3), 高カリウム血症(グレード2), アシドーシス(グレード3)が発現した。
				中止4日後	低カルシウム血症(グレード2)が発現した。
				中止5日後	血小板減少(グレード4)が発現した。
				中止6日後	高カリウム血症(グレード3)が発現した。これまでの間, 肝庇護剤, 利尿剤投与, 電解質補正, アシドーシス補正, 栄養補給などにより対処していたが, 突然徐脈となり, 同日心肺停止となった。蘇生後ICU管理を行った。
中止7日後	CT検査にて原発巣は123.54mmであり, 腫瘍体積は-160mL(-13%)の縮小を認めた。				
中止44日後	多臓器不全のため死亡した。				

臨床検査値

	投与8日前	投与9日目 (投与中止日)	中止2日後	中止6日後
白血球数 (/mm ³)	5930	5560	9930	20740
AST (GOT) (IU/L)	24	1237	11760	1519
ALT (GPT) (IU/L)	19	368	3281	892
Al-P (IU/L)	298	322	592	533
LDH (IU/L)	155	2277	15651	1740
γ-GTP (IU/L)	—	43	89	—
総ビリルビン (mg/dL)	0.6	1.9	2.2	3.5
BUN (mg/dL)	9.5	22.5	33.9	34.5
クレアチニン (mg/dL)	0.5	0.7	1.2	1.5
尿酸 (mg/dL)	—	10.1	12.6	—
Na (mEq/L)	137	134	128	142
K (mEq/L)	4.3	4.6	5.9	6.8
Cl (mEq/L)	100	96	92	100
Ca (mEq/L)	8.8	8.9	8.3	7.6
CRP (mg/dL)	12.38	—	12.74	31.1

併用薬: カルボシステイン, ジメモルファンリン酸塩, レボフロキサシン水和物, コデインリン酸塩水和物, ウルソデオキシコール酸, ドンペリドン

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 60代	腎細胞癌第4期 (肺転移, 肝転移, 骨転移, 副腎転移)	50mg 14日間	腫瘍崩壊症候群	
				<前治療歴>	なし
				投与9日前	腰背部痛を主訴とし, 痛みが強く体動も不可能となり, 救急外来を受診した。精査の結果, 左腎細胞癌(T2N0M1), 多発転移(肺, 骨, 肝臓, 副腎)と診断し, 泌尿器科に紹介となった。腰椎骨折を合併していた。PS:1。
				投与開始日	腎細胞癌に対して本剤50mg/日の投与を開始した。
				投与12日目	嘔吐が出現した。
				投与14日目 (投与中止日)	黒褐色尿が認められるようになり, 生化学的検査でBUN, クレアチニン, 尿酸, 無機リンの上昇が確認された。これらは腫瘍崩壊症候群の診断基準に合致した。直ちに本剤の投与を中断した。CT検査では腫瘍は軽度増大し, 胸水も増加した。輸液療法による強制利尿, アロプリノール投与などによる保存的治療を開始した。
				中止1日後	尿量は2000mL以上を維持した。BUN, クレアチニン, 尿酸, 無機リンの減少が認められた。
				中止3日後	BUN, クレアチニン, 尿酸, 無機リンは正常範囲内となり, 腫瘍崩壊症候群は回復した。
				中止5日後 (再投与開始日)	本剤50mg/日の投与を再開した。
再投与開始後	本剤1コース終了後の治療効果判定で悪化と判断し, 全身状態も不良となり, その後は緩和治療を施行した。				
投与54日目	癌死した。				

臨床検査値

	投与9日前	投与7日目	投与14日目 (投与中止日)	中止1日後	中止3日後	中止5日後 (再投与開始日)
白血球数 (/mm ³)	7650	5740	4460	—	3730	3490
AST (GOT) (IU/L)	138	156	161	—	—	—
ALT (GPT) (IU/L)	32	84	39	—	—	—
LDH (IU/L)	1510	1671	3244	—	—	—
BUN (mg/dL)	21.8	21.5	61	49.3	16.9	12.1
クレアチニン (mg/dL)	1	1.1	2.6	2.3	1.3	1.1
尿酸 (mg/dL)	6.6	—	9.5	7.6	3.2	2
Na (mEq/L)	129	—	136	134	136	134
K (mEq/L)	4.1	—	4.9	4.3	4.1	4.1
Cl (mEq/L)	89	—	99	99	102	101
Ca (mEq/L)	9.8	—	8.8	7.9	8	8
P (mEq/L)	—	—	5.4	3.8	2.9	3.2
CRP (mg/dL)	9.3	—	—	—	—	—

併用薬：レバミピド，ロキソプロフェンナトリウム水和物，尿素，ゾピクロン，ジクロフェナクナトリウム，バルサルタン，硝酸イソソルビド，酸化マグネシウム，塩酸ペンタゾシン，クリンダマイシン塩酸塩，ドンペリドン